

## 山梨県文学館協議会資料

平成30年10月12日(金)

山梨県立文学館

## 目 次

	ページ
<u>山梨県文学館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県附属機関の設置に関する条例 他</u>	2
<u>山梨県文学館組織図</u>	4
<u>指定管理者組織図</u>	5
<u>山梨県立文学館活動報告(概要)</u>	6
<u>施設利用状況</u>	7
<u>観覧者数の推移</u>	8
<u>平成29、30年度展覧会の状況</u>	10
<u>教育普及事業について</u>	12
<u>資料情報課事業一覧</u>	21
<u>指定管理者活動報告</u>	24

## 山梨県文学館協議会委員名簿

任期：平成29年9月29日～平成31年9月28日

区分	氏名	役職	出身分野（勤務先等）
委嘱	津久井 豊徳	県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 （南アルプス市教育委員会教育委員、連合会会長）
〃	青木 れい子	県社会教育団体代表	社会教育関係 （山梨県社会教育委員、ガールスカウト山梨県連盟 連盟長）
〃	石川 芳子	山梨文芸協会事務局長	学識経験者（山梨文芸協会事務局長）
〃	杉原 克彦	報道関係	学識経験者（山梨日日新聞社 論説委員）
〃	水石 和仁	報道関係	学識経験者（テレビ山梨 放送本部・報道制作局長）
〃	田中 昌央	報道関係	学識経験者（NHK甲府放送局副局長）
〃	長谷川 千秋	山梨大学教授	学識経験者
〃	古川 裕佳	都留文科大学教授	学識経験者
〃	廣瀬 孝嘉	元山梨県教育長	学識経験者
〃	出澤 忠利	印傳博物館 運営委員	学識経験者
〃	澤谷 滋子	浅川伯教・巧兄弟資料館館長	学識経験者
〃	赤井 美知江	公募委員	家庭教育関係者
〃	高橋 恵美子	公募委員	家庭教育関係者
任命	清水 千春	県公立小中学校長会代表	学校教育関係 （中央市立田富中学校長）
〃	羽田 孝行	県高等学校長協会代表	学校教育関係 （富士北陵高等学校長）

○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 知事の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二及び別表第三の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、知事（教育委員会の附属機関にあつては、教育委員会。以下同じ。）が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。（会長等）

第五条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第八条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第一（第二条、第四条関係）

二 教育委員会の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県立美術館協議会	博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第二十条第二項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	十五人以上	一 学校教育の関係者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者	三年
山梨県文学館協議会	博物館法第二十条第二項の規定による山梨県立文学館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務			

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠委員の任期）

第三条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（平六教委規則二・旧第二条線下）

（会長及び副会長）

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

（定足数の特例）

第五条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	過半数
山梨県へき地等教育振興審議会	過半数
山梨県立美術館協議会	過半数
山梨県考古博物館協議会	過半数
山梨県文学館協議会	過半数
山梨県地方産業教育審議会	過半数
山梨県スポーツ振興審議会	過半数

（定例会及び臨時会）

第十二条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	開催回数
山梨県立美術館協議会	年二回
山梨県考古博物館協議会	年二回
山梨県文学館協議会	年二回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

（昭六一教委規則一・旧第十一条線下、平元教委規則五・一部改正）

（庶務）

第十三条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	所属
山梨県図書館協議会	図書館
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	高校教育課
山梨県へき地等教育振興審議会	義務教育課
山梨県特別支援教育振興審議会	高校教育課
山梨県立美術館協議会	美術館
山梨県考古博物館協議会	考古博物館
山梨県文学館協議会	文学館
山梨県地方産業教育審議会	高校教育課
山梨県スポーツ振興審議会	スポーツ健康課

（昭六一教委規則一・旧第十二条線下・一部改正、昭六三教委規則七・平元教委規則五・平四教委規則三・平六教委規則二・平八教委規則四・平九教委規則八・平一九教委規則三・一部改正）

（委任）

第十四条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

○博物館法（抜粋）

（博物館協議会）

第二十条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十一条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

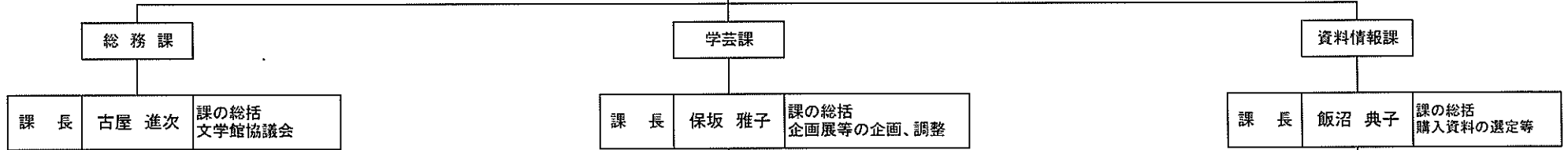
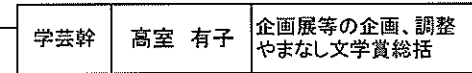
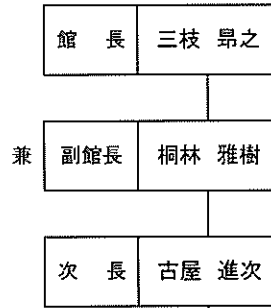
第二十二条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

# 文学館組織図

平成30年10月1日現在

所属名	県立文学館		
正規職員	非常勤嘱託	臨時職員	合計
11	7		18
(兼3)	(兼1)		(兼4)

※副館長及び総務課職員は、美術館勤務で文学館と兼務



## 学芸担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	中野 和子	担当の総括 企画展・常設展の実施 特殊資料の整理公開
学芸員	伊藤 夏穂	企画展・常設展の実施 特殊資料の整理公開
非常勤 嘱託	酒井 研一	ボランティア育成・指導等
非常勤 嘱託	佐藤 明子	特殊資料の整理公開

## 教育普及担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 主幹・ 教育主事	石田 史明	担当の総括 学校教育・生涯学習機 関との連携
副主幹・ 教育主事	小林 伸一郎	学校教育・生涯学習機 関との連携協力、文学講座
副主査・ 教育主事	柳川 由美子	学校教育・生涯学習機 関との連携協力、文学講座

## 文学館協力会

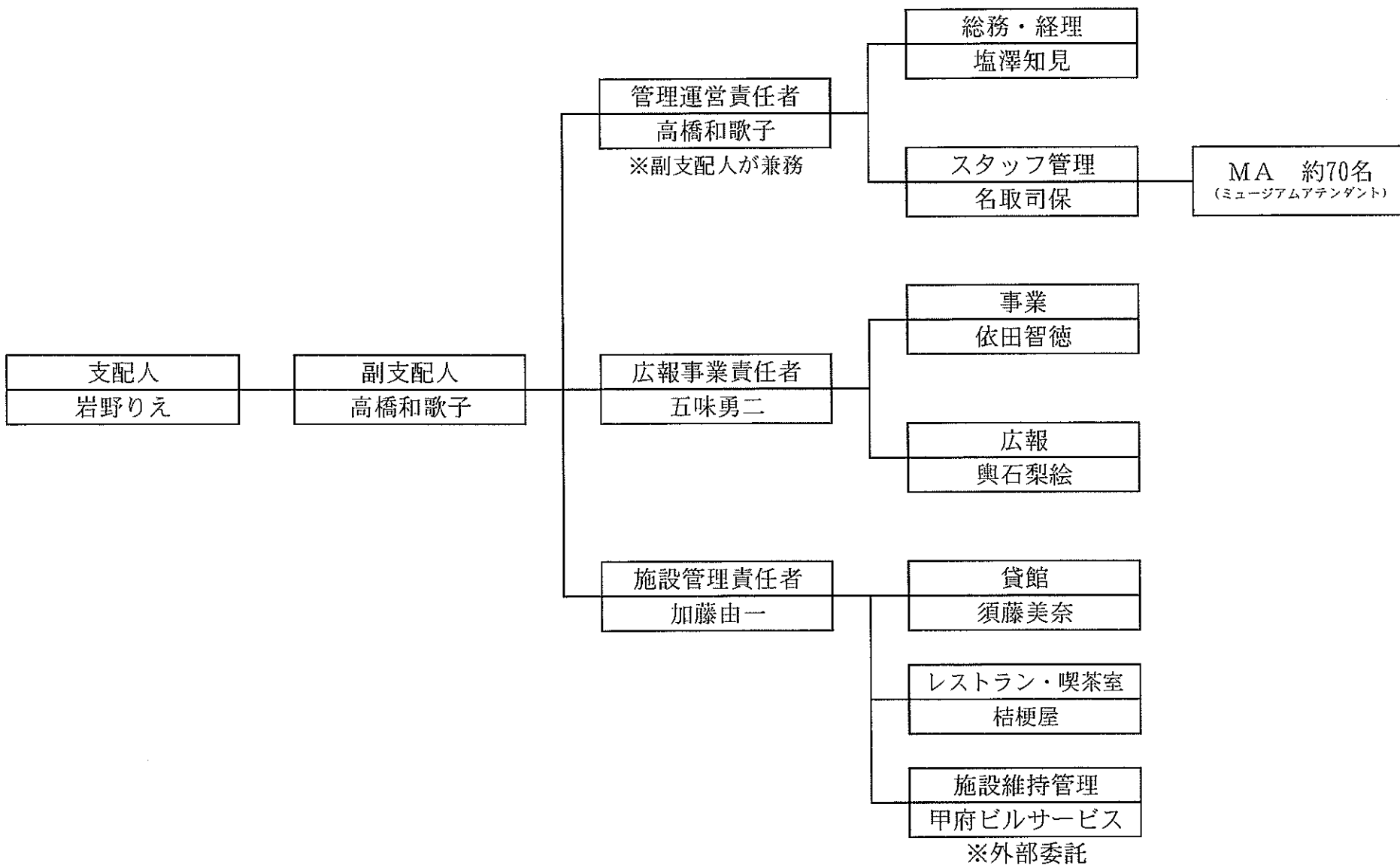
職名	氏名	主たる業務
協力会 職員	千国 ちふみ	協力会業務

職名	氏名	主たる業務
兼 リーダー 主幹	望月 博史	担当の総括 予算管理
兼 主任	高山 慎之介	会計・経理 旅費・福利
兼 非常勤 嘱託	小尾 祐子	職員給与等 共済組合、互助会

職名	氏名	主たる業務
リーダー 副主幹	小林 幸代	担当の総括 図書、逐次刊行物の評 価・公開
主任	中島 桂子	文献検索システム、情 報ネットワーク・インタ ラ事業、HP更新
非常勤 嘱託	土屋 育正	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
非常勤 嘱託	瀧田 夏希	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
非常勤 嘱託	内藤 るか	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
非常勤 嘱託	白倉 美紀子	資料等の整理 閲覧室カウンター業務

※副館長及び総務課職員は、美術館勤務で文学館と兼務

平成30年度指定管理者  
組織体制（美術館と兼務）



山梨県立文学館活動報告（概要）

本館に求められるもの

県民の価値観の多様化・余暇活動の関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがいを求めて、文化活動に対する質の向上やニーズも一段と高く、幅広いものとなってきている。このような中、文学に対する知識・教養の向上をはかり、県民文化の発展向上に寄与することを目的として設置されている山梨県立文学館には、次のものが求められている。

- 【展示／見る】文学史に残る作家と作品を紹介する企画展や特設展と、山梨県出身、ゆかりの文学者を展示する常設展示の一層の充実をはかる。
- 【教育普及／学ぶ】生涯学習、教育課程における学習など、多様な学習機会の提供、本県における文学、創作活動の充実、発展、その場の提供。
- 【資料情報／収集・保存・公開】山梨県にゆかりのある作家の作品（資料）を収集保存し、活用する。
- 【付加価値・魅力／たのしみ】本来の文学館機能に加え、付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供。

平成29年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開  
 〈常設展〉年4回春夏秋冬展示替えに加え、夏秋は「漱石生誕150年記念」企画を開催。  
 春：推理小説の開拓者 木々高太郎 生誕120年  
 夏前期：漱石とJ.F.ミレー、 夏後期：漱石と橋口五葉（山梨県立美術館出品協力）  
 秋前期：漱石一紙の達人、 秋後期：漱石と芥川龍之介  
 冬：小林富司夫 生誕100年

第1室 山梨の文学風土（甲斐のうた・甲州の近世文学） 樋口一葉（朗読コーナー）  
 第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち  
 井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代等 21作家のコーナー  
 第3室 芥川龍之介（朗読コーナー）  
 第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室  
 第5室 前期（9月まで）小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡  
 後期（3月まで）詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

〈春の特設展〉「歿後50年 山本周五郎展」4月～6月  
 〈夏の特設展〉「作家のデビュー展」7月～8月  
 〈秋の企画展〉「津島佑子展 いのちの声をさかのぼる」9～11月  
 〈新収蔵品展〉「ブンガク玉手箱」1月～3月

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。  
 年間文学講座・名作映画鑑賞会・朗読公演会・文学創作教室・初心者/中級者短歌教室・ワークショップ・特設展、企画展（秋）の関連事業・チャレンジ文学館・夏休みチャレンジ文学館・ジュニアインターンシップ・文学、展示解説・講師派遣・移動文学館・校内文学館・教師のための学習会・教育センターと共催の教員対象の研修会、校長会、国語部会への説明、読書会（協力会）、  
 〈第26回やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門で実施 H30年3月2日発表、17日表彰式

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

・資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供として  
 ○閲覧室資料紹介＝山本周五郎を読む・山梨に生まれた作家たち・津島佑子の世界・近代文学の挿絵画家たち  
 ○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介  
 土橋治重・太宰治・飯田龍太・田中冬二・深沢七郎・李良枝  
 ○書庫見学 6/10（土） 11/20（日・県民の日） 午前・午後各1回  
 ○レファレンス 利用者からの調査相談対応、コピーサービス対応

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協会による常設展の解説ボランティアを育成、解説の実施（毎週日曜日）。

平成30年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開  
 〈常設展〉年4回春夏秋冬展示替えに加え、次のテーマで期間限定公開のコーナーを設置  
 春：竹中英太郎と竹中芳 夏：高浜虚子と山中湖の虚子山荘  
 秋：小説家・熊王徳平 冬：小林一三と文芸

第1室 山梨の文学風土（甲斐のうた・甲州の近世文学） 樋口一葉（朗読コーナー）  
 第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち  
 井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代等 21作家のコーナー  
 第3室 芥川龍之介（朗読コーナー）  
 第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室  
 第5室 前期（9月まで）小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡  
 後期（3月まで）詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

〈春の特設展〉「生誕120年 井伏鱒二展 旅好き 釣り好き 温泉好き」4月～6月  
 〈夏の特設展〉「童話の花束 子どもたちへの贈り物」7月～8月  
 〈秋の企画展〉「歿後30年 草野心平展 ケルルン クックの詩人、富士をうたう。」9～11月  
 〈新収蔵品展〉1月～3月

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。  
 年間文学講座・名作映画鑑賞会・朗読公演会・文学創作教室・初心者/中級者短歌教室・ワークショップ・特設展、企画展（秋）の関連事業・チャレンジ文学館・夏休みチャレンジ文学館・ジュニアインターンシップ・文学、展示解説・講師派遣・移動文学館・校内文学館・教師のための学習会・教育センターと共催の教員対象の研修会、校長会、国語部会への説明、読書会（協力会）、  
 〈第27回やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門で実施予定

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

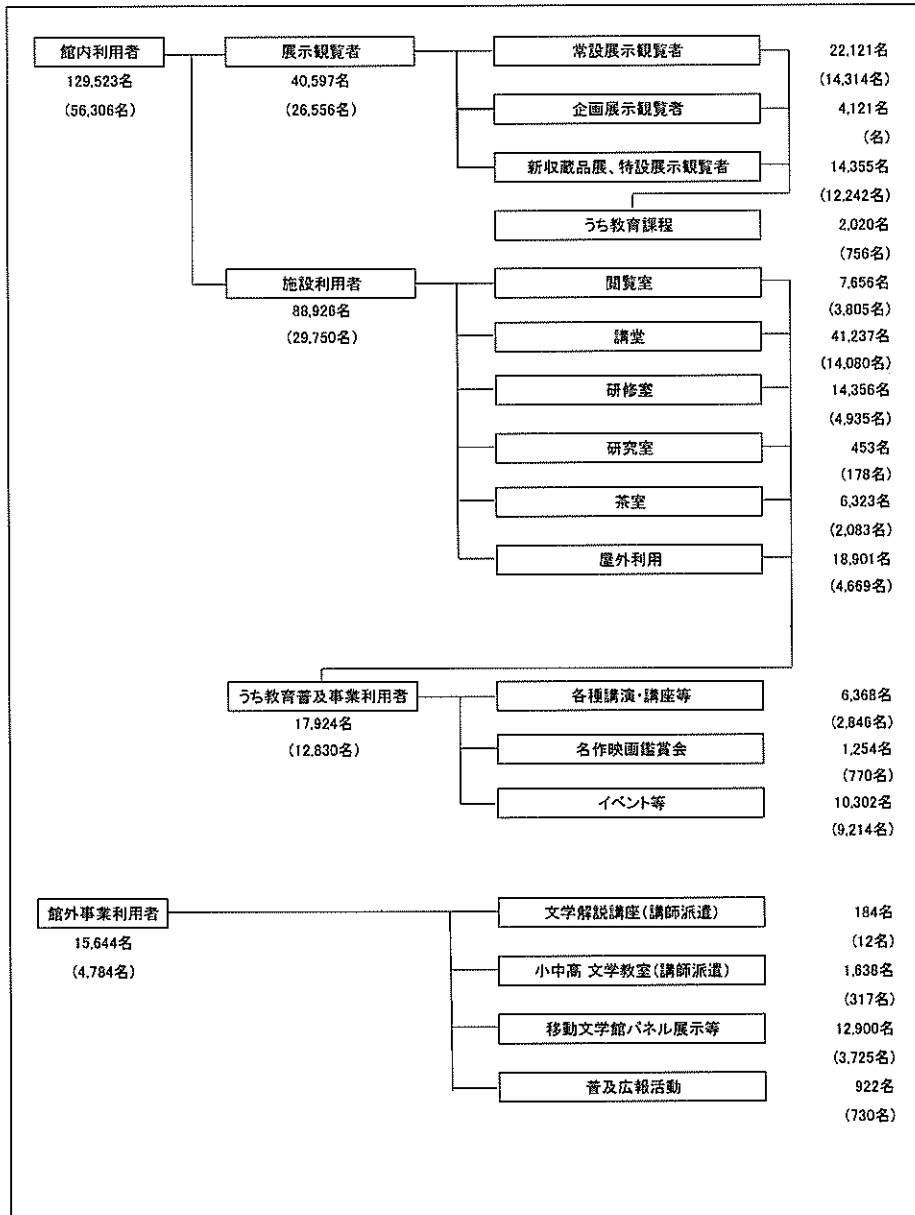
・資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供として  
 ○閲覧室資料紹介＝井伏鱒二を読む・みんなで読もう日本の名作・草野心平の世界・  
 映像になった文学作品 平成をふり返って  
 ○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介  
 飯田蛇笏・太宰治・辻邦生・山崎方代・与謝野晶子・中村星湖  
 ○書庫見学 6/9（土） 11/20（火・県民の日） 午前・午後各1回  
 ○レファレンス 利用者からの調査相談対応、コピーサービス対応

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

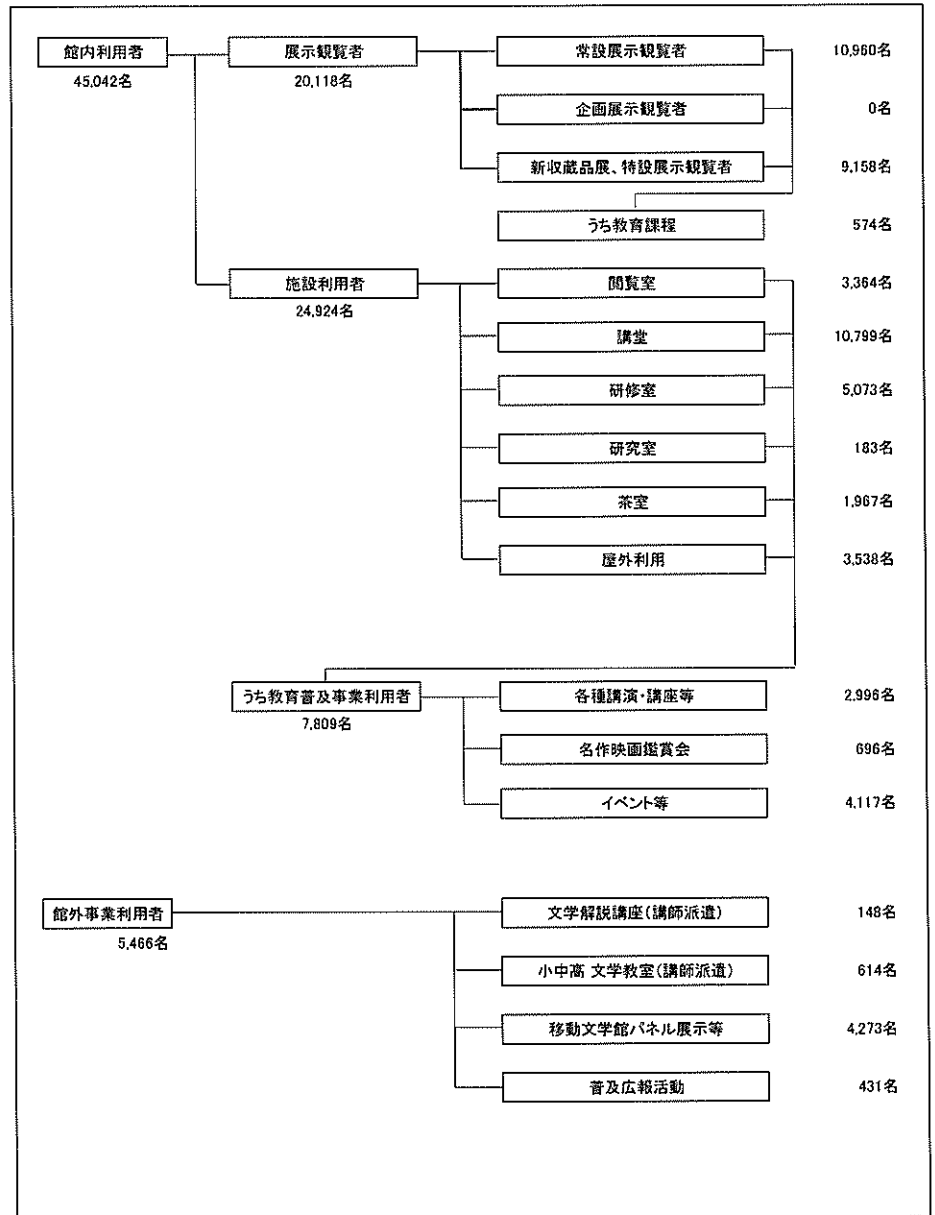
協会による常設展の解説ボランティアを育成、解説の実施（毎週日曜日）。

文学館における「利用者」の状況

平成29年度実績。( )内は8月末現在



平成30年8月末現在



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。



文学館の観覧者数の推移

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

年度	開館日数	常設展観覧者数	企画展観覧者数	合計
H1	34	10,008	42,544	52,552
2	298	79,124	20,233	99,357
3	296	59,616	22,059	81,675
4	292	46,945	21,047	67,992
5	291	41,812	8,271	50,083
6	290	44,279	29,874	74,153
7	294	35,409	14,885	50,294
8	294	31,536	16,804	48,340
9	291	29,730	8,205	37,935
10	293	32,209	15,433	47,642
11	296	20,652	9,832	30,484
12	299	19,258	7,786	27,044
13	225	17,901	10,259	28,160
14	301	19,487	8,805	28,292
15	302	18,641	8,535	27,176
16	302	18,117	12,790	30,907
17	303	15,008	7,232	22,240
18	311	16,084	7,116	23,200
19	311	19,676	9,795	29,471
20	307	14,908	9,416	24,324
21	295	19,374	13,993	33,367
22	307	21,085	17,983	39,068
23	311	17,280	8,371	25,651
24	311	24,660	4,641	29,301
25	306	23,749	5,620	29,369
26	308	41,209	39,356	80,565
27	310	18,763	4,758	23,521
28	306	18,353	6,315	24,668
29	304	22,121	4,121	26,242
30	133	10,960		10,960
計	8,521	807,954	396,079	1,204,033

平成30年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,249	48
5	27	2,395	89
6	26	1,683	65
7	26	2,165	83
8	28	3,468	124
9			
10			
11			
12			
1			
2			
3			
計	133	10,960	82

平成29年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,089	42
5	27	2,563	95
6	26	1,628	63
7	26	4,132	159
8	29	4,902	169
9	26	925	36
10	26	1,371	53
11	27	2,401	89
12	21	514	24
1	20	557	28
2	24	876	37
3	26	1,163	45
計	304	22,121	73

8月 まで	134	14,314	107
----------	-----	--------	-----

前年同期比 76.6%

観覧者(常設展+企画展+特設展+新収蔵品展)

合計 1,523,889名

特設展観覧者数 247,042

新収蔵品展観覧者数 72,814

企画展観覧者数

年度	企画展名	開催日数	観覧者数	1日平均
1	山梨の文学	87	42,544	489
2	書簡の文学	51	9,877	194
2	樋口一葉展	33	10,356	314
3	旅の文学	33	4,694	142
3	芥川龍之介展	48	17,365	362
4	与謝野晶子と「明星」	38	9,471	249
4	飯田蛇笏展	56	11,576	207
5	現代の女性作家	42	8,271	197
6	山崎方代展	54	6,020	111
6	中村星湖展	54	5,842	108
6	近代文学とミレー展	51	18,012	353
7	井伏鱒二	68	10,294	151
7	田中冬二展	43	4,591	107
8	宇野千代の世界	33	8,865	269
8	北巨摩の文学	93	7,939	85
9	前田鼎・田山花袋・窪田空穂	56	3,448	62
9	現代歌人の宴	56	4,757	85
10	画文交響 飯田蛇笏をめぐる画人たち	55	8,334	152
10	山本周五郎の世界	56	7,099	127
11	やまなし・女性の文学	56	4,586	82
11	山梨の文学-21世紀へ-	91	5,246	58
12	画文交響 明治末期から大正中期へ	56	2,835	51
12	太宰治と樽一雄	56	4,951	88
13	夏目漱石展	57	5,853	103
13	富士百景	54	4,406	82
14	芭蕉展	33	4,297	130
14	松本清張と木々高太郎	56	4,508	81
15	中里介山「大菩薩峠」の世界	57	3,514	62
15	芥川龍之介と菊池寛・久米正雄	56	5,021	90
16	樋口一葉展Ⅰ	44	4,165	95
16	樋口一葉展Ⅱ	55	8,625	157
17	「赤い鳥」と「少年倶楽部」の世界	52	3,090	59
17	山の文学展	56	4,142	74
18	辻邦生展	53	2,902	55
18	正岡子規とその時代	57	4,214	74
19	高村光太郎 いのちと愛の軌跡	53	4,792	90
19	宮沢賢治 若き日の手紙	53	5,003	94
20	芥川龍之介の手紙 敬愛する友 恒藤恭へ	53	3,178	60
20	飯田龍太展	53	6,238	118
21	太宰治展	52	7,544	145
21	樋口一葉と甲州	59	6,449	109
22	山崎方代展	50	3,589	72
22	井伏鱒二と飯田龍太	53	3,899	74
23	文芸映画のたのしみ	45	4,042	90
23	深沢七郎の文学	47	4,329	92
24	石川啄木	52	4,641	89
25	与謝野晶子展	53	5,620	106
26	村岡花子展	69	34,844	505
26	谷崎潤一郎展	54	4,512	84
27	俳句百景展	60	4,758	79
28	北杜夫展	59	6,315	107
29	津島佑子展	53	4,142	78
30	草野心平展	57		
	計	2,871	385,605	134

特設展観覧者数

年度	名称	開催日数	観覧者数	一日平均
2	「山梨と高浜虚子」	33	8,785	266
3	「辻嵐外と嵐外十哲」	33	8,996	273
3	「たけくらべの世界」	36	10,378	288
3	「映画と文学」	36	9,814	273
3	「文学者の扇面と賀賀状 子規がいて、漱石がいて、さうして…」	22	2,327	106
4	新収蔵資料より「近世の俳人 五味可都里と辻嵐外」	48	12,152	253
4	「佐野四郎の世界-富士見ゆる丘より」	54	6,650	123
5	「やまなしの自然と文学」	56	6,973	125
5	「五味可都里と蟹守の周辺」	53	8,648	163
5	「芥川龍之介 草稿の世界」	66	8,876	134
5	「野尻抱影 書簡の世界」	51	5,519	108
6	「歌人の手紙」	33	4,220	128
7	「やまなし文学賞の受賞者たち」	44	3,756	85
7	「中村星湖への手紙」	56	3,324	59
8	「『豹・レオパード』の詩人たち -宮田桐夫資料より-」	24	1,861	78
8	「蛇笏山脈の人々 -西島斐南・松村蒼石・榎本虎山-」	57	3,629	64
9	「芥川龍之介の草稿」	55	5,932	108
9	「村松定孝氏収集」	32	1,274	40
10	「児童文学-山梨ゆかりの作家群-」	50	3,778	76
10	「鳴山草平資料」	23	757	33
11	「山岳関連名著展 -百瀬舜太郎コレクションより-」	41	4,202	102
12	「脚本家・菊島隆三と竹内勇太郎」	34	2,019	59
12	「山梨の文芸誌-大正から昭和初期」	42	1,068	25
13	「やまなしの児童文芸 -『赤い鳥』『金の船』『金の星』『童話』を中心に-」	41	2,086	51
13	「山梨の文芸誌-戦後から現代まで-」	41	1,121	27
14	足立源一郎『日本の山旅』スケッチ画と山の文学	66	4,013	61
15	山梨の農民文学	38	1,947	51
16	山崎方代 歌と書の世界	27	2,862	106
17	山梨のアララギ源歌人展 伊藤左千夫・三井甲之・神奈桃村・岡千里・日原無限を中心に	34	1,393	41
18	「赤毛のアン」の世界へ	33	4,138	125
19	天空をめぐる物語 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	33	4,100	124
20	すべての子どもたちへ 芥川龍之介「蜘蛛の糸」	32	2,909	91
21	H・Cアンデルセン「人魚のお姫さま」-青い瞳の涙-	30	3,027	101
21	収蔵名品展（常設展観覧料で見せた）	44	3,007	68
22	くじらぐもからチックタックまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展-	31	10,495	339
23	手紙を書こう 作家の手紙をお手本に	35	2,686	77
23	樋口一葉 山梨への手紙	32	2,127	66
24	フランダーズの犬	33	5,034	153
24	飯田蛇笏展	53	6,553	124
24	至宝展（国文祭関連で常設展観覧料で見せた）	54	3,490	65
25	富士山と文学	63	4,549	72
25	かいけつゾロリ展	33	8,621	261
26	本のおしゃれ展（特別コーナー-村岡花子と柳原白蓮）	34	10,309	303
27	田中冬二展 なつかしい日本の風景	50	3,695	74
27	芥川龍之介の夏休み	41	4,661	114
28	辻 嵐外 甲州の近世俳人	46	2,514	55
28	宮沢賢治 保阪嘉内への手紙	47	5,367	114
29	歿後50年 山本周五郎展	45	3,920	87
29	作家のデビュー展	44	8,322	189
30	生誕120年 井伏鱒二展	45	3,916	87
30	童話の花束	39	5,242	134
計		2,123	247,042	116

平成29年度 企画展・特設展など(実績)

	展覧会名	会期	日数	観覧者数	内 容	備 考
1	特設展 歿後50年 山本周五郎展	平成29年 4月29日(土) ～ 6月18日(日)	45日間	3,920人	2017(平成29)年は大月市出身の小説家・山本周五郎歿後50年にあたります。「赤ひげ診療譚」などの江戸庶民の人情ものや、「縦ノ木は残った」など歴史長編を発表して人気を博し、映画化された作品も数多くあります。現在も多くの読者の支持を得ている数少ない作家の一人です。当館で収集した資料を中心に、山本周五郎の生涯と作品を紹介しました。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
2	特設展 作家のデビュー展	平成29年 7月15日(土) ～ 8月27日(日)	40日間	8,322人	半井桃水創刊の雑誌に発表された樋口一葉の「闇桜」、発表当時の反響は小さかったものの現在ではほとんどの教科書に掲載されている芥川龍之介の「羅生門」、当時の作家が大きな衝撃を受け前代未聞の出版記念会が行われた深沢七郎の「檜山節考」など、山梨ゆかりの作家のデビュー作やエピソードを館蔵資料により紹介。さらに、現在活躍中の辻村深月(笛吹市)、神永学(南巨摩郡富士川町)などのデビューの頃もとりました。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
3	企画展 津島佑子展 いのちの声をさかのぼる	平成29年 9月23日(土・祝) ～ 11月23日 (木・祝日)	53日間	4,121人	2016年2月18日に逝去した作家・津島佑子の初の展覧会。作家・太宰治の次女として1947年に生まれ、大学在学中より小説を発表。結婚、出産、離婚、息子の死、母子家庭や障害を持ち夭折した兄のことなど、自身の体験をもとに女性の立場から内面世界に迫る作品を創出しました。「火の山 ― 山猿記」では、母・美知子の実家・石原家をモデルに、甲州を舞台とする三代にわたる一族の人々と時代を壮大なスケールで描き、谷崎潤一郎賞、野間文芸賞を受賞。その後も、少数民族や原発問題へと視野を広げ、重厚な作品世界を展開しました。原稿などの直筆資料や各国で刊行された翻訳本のほか、椅子や衣服等の愛用品を展示し、多彩な活動と魅力を紹介しました。	自主企画
4	新収蔵品展 ブンガク玉手箱 太宰治・田中冬二・辻邦生・野尻抱影・山本周五郎ほか	平成30年 1月20日(土) ～ 3月21日(水・祝)	52日間	2,017人	平成29年に新たに収蔵した資料を中心に、太宰治や辻邦生の書簡や山本周五郎の原稿など、貴重な直筆資料約70点を展示しました。	自主企画 ・観覧料無料で公開

平成30年度 企画展・特設展など(実績および予定)

	展覧会名	会期	日数	観覧者数	内 容	備 考
1	特設展 井伏鱒二展	平成30年 4月28日(土) ～ 6月17日(日)	45日間	3,916人	2018(平成30)年は、小説家・井伏鱒二の生誕120年にあたります。井伏は、「山椒魚」「ジョン万次郎漂流記」「黒い雨」などの作品を執筆し、日本文学史に名を残した作家であると同時に、山梨県と深い繋がりを持っています。1995(平成7)年に企画展を開催していますが、本展では、それ以降に収集した資料を含め、下部温泉、増富ラジウム温泉、疎開した甲府市・岩月家などの県内の各地に残した足跡や、飯田蛇笏・龍太親子との交流も紹介しました。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
2	特設展 童話の花束 子どもたちへの贈り物	平成30年 7月14日(土) ～ 8月26日(日)	39日間	5,242人	山梨ゆかりの文学者の児童文学作品を紹介した展覧会。「蜘蛛の糸」「杜子春」で知られる芥川龍之介、「赤毛のアン」などの翻訳とともに創作童話も手がけた村岡花子、少年少女向けの歴史本編集に携わった前田晁、「おかあさん童話」が母に親しまれた徳永寿美子、児童文学雑誌「赤い鳥」に多くの童話を発表した中村星湖に、これまで資料を展示する機会が少なかった太田黒克彦、小野政方、矢崎源九郎を加えた8名の原稿や書簡、童話集などを展示しました。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
3	企画展 歿後30年 草野心平展 ケルルン クックの詩人、富士をうたう。	平成30年 9月22日(土) ～ 11月25日(日)	57日間	— 人	蛙の詩で知られる草野心平(1903～1988)のもう一つの重要なテーマが富士山です。1940年に「日本詩壇」に詩「富士」を発表してからは、生涯にわたってのテーマとなり、『富士山』(1943年)、『富士の全体』(1977年)などの詩集を刊行。また、詩だけではなく、書や絵画でも富士山の魅力をダイナミックに表現しました。本展では、草野心平の生涯と生命力溢れる詩の世界とともに、富士山来訪のエピソードや山梨県立南高等学校の校歌作詞など、山梨との関わりについても紹介します。	自主企画
4	新収蔵品展	平成31年 1月26日(土) ～ 3月24日(日)	50日間	— 人	平成30年に新たに収蔵した資料を中心に、作家の原稿や書簡など貴重な直筆資料の数々を紹介します。	自主企画 ・観覧料無料で公開

1 企画展・特設展関連事業

(1) 企画展

企画展 「津島佑子展」関連事業

月日	事業名・演題	講師	参加人数
10月14日	講演会「津島文学の魅力」	坂上弘（作家・日本近代文学館理事長）	65
11月5日	講演会「ふたつの世界の接するところ」	堀江敏幸（作家・早稲田大学教授）	140
11月12日	朗読と対談 「津島佑子「火の山-山猿記の世界」	朗読 竹下景子（俳優） 対談 川村湊（文芸評論家） 石原燃（劇作家・津島佑子長女）	380
10月1日	「津島佑子作品の場所をめぐる」	中野和子（当館学芸員）	70
合計			655

(2) 特設展

特設展「歿後五十年 山本周五郎展」関連事業

月日	事業名・演題	講師	参加人数
5月21日	「書簡に見る周五郎の心情」	保坂雅子（当館学芸課長）	86
合計			86

特設展「作家のデビュー展」関連事業

月日	事業名・演題	講師	参加人数
7月30日	辻村深月講演会 「フィクションの向こう側」	辻村深月（小説家）	380
8月3日	「太宰治 デビューの頃」	伊藤夏穂（当館学芸員）	78
合計			458

2 教育普及事業

(1) 年間文学講座

講師	事業名・演題	月日	人数
長谷川千秋 (山梨大学)	年間文学講座1（全8回）講堂 「甲州地誌『真見寒話』 -甲州の伝説をよむ」- 土曜日 14:00~90分	5月27日	130
		6月24日	116
		7月15日	104
		8月12日	87
		9月16日	103
		10月21日	73
		11月25日	79
		12月16日	94
小計			786
牛山 志 (都留文科大学名誉教授)	年間文学講座2（全8回）講堂 「教科書にのった児童文学と その作家たち」 木曜日 14:00~90分	5月11日	130
		6月8日	147
		7月13日	107
		8月10日	100
		9月21日	128
		10月12日	108
		11月16日	103
		12月7日	110
小計			933
保坂雅子 伊藤夏穂 笠井里香 高室有子	年間文学講座3「山梨の文学」	5月21日	86
		8月3日	78
		9月7日	39
		1月25日	45
小計			248
合計			1,967

(2) やまなし文学賞

月日	演題	講師	参加人数
3月12日	表彰式、朗読、音楽会		100
合計			100

## (3) 教師のための学習会

月 日	題 名	情 報	参加人数
7月27日	特設展 先生のための学習会①		11
	企画展 先生のための学習会②		2
合計			13

## (4) チャレンジクイズ

クイズ名	参加人数
チャレンジ文学館「わたしはだあれ？」	2,089
文学の柱	175
企画展チャレンジクイズ	302
特設展チャレンジクイズ	7,074
合計	9,640

## (5) 名作映画観賞会

月 日	題 名	情 報	参加人数
5月14日	椿三十郎	1962年 原作 山本周五郎 監督 黒澤明 出演 三船敏郎 仲代達矢	240
6月10日	青葉城の鬼	1962年 原作 山本周五郎 監督 三隅研次 出演 長谷川一夫 高田美和	324
7月29日	アニメ「チリンの鈴」	1978年 原作 やなせたかし 監督 波多正美	80
8月6日	アニメ「火垂るの墓」	1988年 原作 野坂昭如 監督 高畑勲	126
9月18日	太陽の季節	1956年 原作 石原慎太郎 監督 古川卓巳 出演 石原裕次郎 南田洋子	260
11月20日	伊豆の踊子	1963年 原作 川端康成 監督 西河克己 出演 吉永小百合 高橋英樹	224
合計			1,254

## (6) 朗読講演会

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
10月28日	太宰と美英子～耳で聴く昭和文学～	華のん企画	170
合計			170

## (7) 文学創作教室

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
5月13日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	21
6月3日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	21
6月17日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	21
7月9日	一般創作教室 「長野まゆみ講演会」	長野 まゆみ	112
7月9日	高校生創作教室 「長野まゆみ講演会」	長野 まゆみ	30
9月9日	三枝昂之短歌講座	三枝 昂之	44
12月9日	三枝浩樹短歌講座	三枝 浩樹	40
合計			289

## (8) ワークショップ

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
6月4日	ペーパークイリングで風鈴を飾ろう	佐々木 綾子	21
7月2日	デコパージュで「赤毛のアン」を身近に	小林 睦美	28
7月25日	大人も楽しい伝統芸能～能の世界～	佐久間 二郎	50
8月5日	レザークラフトでプレスレットを作ってみよう	近藤 和郎	33
7月17日	夏休み自由研究プロジェクト		256
合計			388

## (9) ジュニアインターンシップ・職場体験学習

月 日	学 校 名	情 報	参加人数
8月2日	中央高校		1
8月3日	甲府城西高校		3
8月6日	甲府西高校		6
合計			10

## (10) 学芸員実習

月 日	学 校 名	情 報	参加人数
合計			0

## (11) 文学解説(展示解説、視察対応)

月日	講座名	対象者	参加人数
4月8日	都留文科大学国文科オリエンテーション	都留文科大学学生	161
7月6日	栃木県下都賀郡教育事務所視察	教育委員・指導主事等	40
7月28日	英和中高芸部	英和中高芸部	14
8月4日	中巨摩地区国語科研究会	中巨摩地区小中国語科教員	33
8月17日	吉田地区国語研究会	吉田地区小中国語科教員	6
8月18日	甲府地区教育協議会図書館教育部会	甲府地区小中学校図書館司書及び司書教諭等	75
8月18日	富竹中学校区3校研究会	富竹地区小中教員	60
8月22日	甲府市小中学校図書館司書部会	甲府市内小中図書館司書等	42
8月23日	櫛形中学校美術・芸部	櫛形中学校美術・芸部	23
10月13日	甲府東高等学校芸部	甲府東高等学校芸部	5
12月9日	山梨県学校図書館教育協議会読書感想文表彰式	小中学生表彰者および保護者	55
12月12日	法政大学大学院	国語国文学科	18
1月30日	甲府市教育協議会図書館部会	甲府市立小中学校図書館司書および司書教諭	80
合計			612

## (12) 山梨の文学解説講座(他会場への講師派遣事業)

月日	講座名	対象者	参加人数
5月29日	山梨県文化協会連合会研修会講座	文化協会等	80
6月18日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院	12
8月26日	山梨大学国語国文学会	山梨大学国語国文学会会員	35
10月3日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院	73
10月22日	甲州市市民講座	受講者	6
11月7日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院	20
11月14日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院	49
12月19日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院	27
1月26日	甲州市市民講座	受講者	26
1月28日	甲府城下町を語る会	会員	32
合計			360

## (13) 小・中・高等学校文学教室(出前授業)

月日	講座名	対象者	参加人数
6月7日	中央高校(俳句)	中央高1年生	130
6月15日	浅川中学校(短歌)	浅川中3年生	131
8月10日	増穂中学校(展示)	増穂中図書委員	23
8月30日	増穂中学校(展示)	増穂中図書委員	23
9月20日	北杜市放課後わくわく教室	長坂地区小学生	73
10月11日	北杜市放課後わくわく教室	大泉地区	62
11月6日	北杜市放課後わくわく教室	小淵沢地区	50
11月7日	早川北小出前授業	早川小5, 6年生	10
11月29日	万沢小出前授業	万沢小5, 6年生	15
2月2日	都留高校探求活動	都留高校1, 2年生	480
2月7日	北杜市放課後わくわく教室	明野地区	21
3月14日	都留高校探求活動	都留高校1, 2年生	480
合計			1,498

## (14) 小・中・高等学校教育課程対応(展示解説)

月日	内 容	対象者	参加人数
4月13日	校外学習	増穂中学校	5
4月20日	校外学習	高根中学校	10
4月21日	校外学習	丹波中学校	4
4月26日	校外学習	市川中学校	11
5月9日	校外学習	明野中学校	4
5月9日	校外学習	長坂中学校	15
5月10日	校外学習	山中湖中学校	3
5月10日	校外学習	身延中学校	3
5月11日	校外学習	韭崎西中学校	6
5月11日	校外学習	韭崎東中学校	4
5月12日	校外学習	白根勅使中学校	2
5月12日	校外学習	小淵沢中学校	7
5月12日	校外学習	普連土学園高等学校	134
5月16日	校外学習	櫛形中学校	11
5月17日	校外学習	早稲田高等学院	88
5月17日	校外学習	八田中学校	7
5月17日	校外学習	双葉中学校	3
5月18日	校外学習	上野原中学校	26
5月18日	校外学習	田富中学校	6
5月19日	校外学習	押原中学校	21
5月19日	校外学習	敷島中学校	5
5月19日	校外学習	泉中学校	5
5月19日	城西高校総合的な学習の時間	甲府城西高校2年	124
5月23日	校外学習	東桂中	5
5月25日	新田小学校総合的な学習の時間	新田小3, 4年生	53
5月26日	城西高校総合的な学習の時間	甲府城西高校1年	127
6月9日	校外学習	韭崎こすもす教室	9
6月9日	国語科校外学習	甲斐清和高校通信制	59
6月13日	校外学習	大月東中	5
7月12日	校外学習	塩山高校	148
7月14日	新田小学校総合的な学習の時間	新田小5, 6年生	56
9月9日	駿台甲府高校総合的な学習の時間	駿台甲府高校2年生	197
10月7日	都留高校探求活動	都留高校2年	3
10月8日	都留高校探求活動	都留高校2年	7
10月24日	北杜高校総合的な学習の時間	北杜高校2年	2
11月14日	昭和高校総合的な学習の時間	昭和高校2年	89
11月15日	昭和高校総合的な学習の時間	昭和高校2年	90
11月16日	昭和高校総合的な学習の時間	昭和高校2年	89
11月22日	学院小学校総合的な学習の時間	学院小5年	76
11月24日	新田小学校総合的な学習の時間	新田小5, 6年生	51
11月30日	新田小学校総合的な学習の時間	新田小3, 4年生	56
12月1日	新田小学校総合的な学習の時間	新田小特別支援学級	12
2月8日	新田小学校総合的な学習の時間	新田小特別支援学級	8
2月14日	新田小学校総合的な学習の時間	新田小3年	31
2月27日	国語科校外学習	甲府看護学校	36
3月1日	新田小学校総合的な学習の時間	新田小4年	25
3月2日	新田小学校総合的な学習の時間	新田小5, 6年生	56
合計			1,794

## (15) 小・中・高等学校移動文学館（アウトリーチ）

月日	利用学校名	セット	対象人数
5月9日	中央高等学校	C	433
5月23日	甲府東中学校	A	642
5月23日	城南中学校	A	813
5月30日	中央高等学校	B	433
6月9日	境川小学校	D	211
6月27日	西原小学校	D	15
6月28日	浅川中学校	B	372
6月30日	中央高等学校	D	433
7月4日	御坂西小学校	C	531
7月5日	山梨北中学校	A	425
9月6日	櫛形中学校	C	611
9月14日	押原中学校	C	538
9月15日	須玉中学校	A	139
9月15日	須玉中学校	B	139
9月27日	櫛形中学校	A	611
9月29日	田富中学校	D	476
10月6日	泉中学校	B	96
10月6日	泉中学校	A	96
10月11日	御坂中学校	D	325
10月13日	山中湖中学校	D	134
10月17日	上野原高等学校	A	485
10月26日	富竹中学校	A	274
10月27日	竜王西小学校	D	335
10月27日	中央高等学校	E	433
11月2日	白根飯野小学校	C	262
11月7日	早川北小学校	D	14
11月14日	一宮中学校	E	296
11月22日	東桂中学校	D	206
11月28日	増穂中学校	E	306
11月29日	万沢小学校	D	31
12月14日	甲府東中学校	E	599
12月21日	栄小学校	D	59
1月5日	北杜高等学校	E	682
1月25日	山梨高等学校	E	560
2月8日	上野原西中学校	E	213
2月23日	双葉中学校	E	450
合計			12,678

利用教材 A:石川啄木セットB:龍太・蛇笏のちまちな人形セットC:花子とアンD:宮沢賢治  
E:文豪ストレイドッグセット

## (16) 外部共催研修

月日	企画名	対象者	利用人数
7月25日	総合教育センターとの共催研修	小中学校教員	10
11月10日	小中学校初任者研修	小中学校初任者研修	38
合計			48

## (17) 各種団体への普及活動

月日	普及内容	対象者	利用人数
5月12日	中巨摩支部校長会	学校長	50
5月16日	甲府支部校長会	学校長	36
5月16日	東山梨支部校長会	学校長	29
5月18日	峡南地区校長会	学校長	28
5月18日	山梨県学校図書館教育研究会	図書館司書・司書教諭等	272
5月23日	北都留地区校長会	学校長	19
5月30日	高等学校国語部会	高等学校国語科教員	45
6月1日	笛吹支部校長会	学校長	19
6月2日	南都留支部校長会	学校長	43
7月6日	北巨摩地区校長会	学校長	27
10月13日	高校国語部会	高等学校国語科教員	40
10月29日	山梨県教育研究集会	国語科教員	30
合計			638

## (18) 協会会読書会

月日	作品	対象者	利用人数
5月7日	山本周五郎「あんちゃん」		8
6月11日	太宰治「晩年」		6
7月9日	芥川龍之介「羅生門・鼻」		8
8月6日	夏目漱石「吾輩は猫である」		6
9月10日	大山ちこ「エンディングノート」		10
10月8日	津島佑子「山を走る女」		7
11月12日	三島由紀夫「春の雪」		10
12月10日	辻村深月「ツナグ」		8
1月21日	司馬遼太郎「歴史と視点」		7
2月18日	山田詠美「放課後の音符」		6
3月11日	芥川賞受賞作2作（第157回&158回）		7
合計			83

## 3 やまなし文学賞

本賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。山梨県の文学振興をはかり、日本の文化発展の一助として、小説と、研究・評論の2部門を設けている。

選考委員 小説部門：坂上弘・佐伯一夫・長野まゆみ  
研究・評論部門：中島国彦・関川夏央・兵藤裕己

部門	応募人数
小説部門応募者数	300
研究・評論部門応募者数	118
合計	418

29年 11月30日 作品締め切り  
30年 2月13日、16日 選考会  
3月12日 表彰式  
6月 小説部門受賞作単行本刊行



1 企画展・特設展関連事業

(1) 企画展

企画展「歿後30年 草野心平展 ケルルンクックの詩人、富士をうたう。」関連事業

月日	事業名・演題	講師	参加人数
10月21日	講演会「牧歌への回帰」	島田雅彦（小説家）	
10月28日	講演会「草野心平、詩の理想を求めて」	蛸飼耳（詩人・作家）	
11月10日	講演会「宮沢賢治、高村光太郎、そして草野心平 ―コスモス、世界共通意識と孤絶意識にかかわって―」	阿毛久芳（都留文科大学名誉教授）	
9月30日	講座「草野心平と富士山 ―展示のみどころ―」	伊藤夏穂（当館学芸員）	
合計			0

(2) 特設展

特設展「生誕120年 井伏鱒二展」関連事業

月日	事業名・演題	講師	参加人数
6月10日	講演会「井伏鱒二の笑いと悲しみ」	町田康（作家）	303
合計			303

2 教育普及事業

(1) 年間文学講座

講師	事業名・演題	月日	人数
長谷川千秋 (山梨大学教授)	年間文学講座1（全8回）講堂 「『真見寒話』を読む―甲州勤番士の捉えた「やまなし」の人・文化・ことば―」 土曜日（8月31日のみ金曜日） 14:00～90分	6月9日	116
		6月30日	121
		7月28日	79
		8月31日	102
		9月15日	
		10月27日	
		11月24日	
		12月15日	
小計			418
○菊池有希 (都留文科大学准教授) ○野口哲也 (都留文科大学准教授) ○古川裕佳 (都留文科大学教授) ○牛山 恵 (都留文科大学名誉教授)	年間文学講座2（全8回）講堂 「日本文学と富士山～近代を中心に」 *4名の講師によるリレー式講座 木曜日 14:00～90分	5月17日	93
		6月21日	88
		7月26日	80
		8月2日	71
		9月6日	
		10月18日	
		11月1日	
		12月6日	
小計			332
中野和子 保坂雅子 高室有子	年間文学講座3「山梨の文学」	5月12日	87
		7月22日	62
		12月9日	
小計			149
合計			899

(2) やまなし文学賞

月日	内容	講師	参加人数
	表彰式		
合計			0

(3) 教師のための学習会

月日	題名	情報	参加人数
7月24日	特設展 先生のための学習会①		11
	企画展 先生のための学習会②		
合計			11

## (4) チャレンジクイズ

クイズ名	参加人数
チャレンジ文学館「わたしはだあれ？」	1,994
文学の柱	294
企画展チャレンジクイズ	
特設展チャレンジクイズ	1,803
合計	4,091

## (5) 名作映画観覧会

月日	題名	情報	参加人数
5月20日	(特設展関連上映) 黒い雨	1989年 原作 井伏鱒二 監督 今村昌平 出演 田中好子 北村和夫	255
6月3日	潮騒	1975年 原作 三島由紀夫 監督 西河克己 出演 山口百恵 三浦友和	235
8月5日	(特設展関連上映) アニメ「赤毛のアン」	1979年 原作 モンゴメリ 監督 高畑勲	206
10月6日	愛と死をみつめて	1964年 原作 大島みちこ 監督 斎藤武市 出演 吉永小百合 浜田光夫	
11月17日	幕末太陽傳	1957年 監督 川島雄三 出演 フランキー堺 南田洋子	
合計			696

## (6) 朗読講演会

月日	事業名 演題	講師	参加人数
9月24日	耳で聴く芥川龍之介 ～名作「鼻」「歯車」の世界	華のん企画	
合計			0

## (7) 文学創作教室

月日	事業名 演題	講師	参加人数
5月13日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	18
5月19日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	18
6月24日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	17
7月14日	一般創作教室 「神永学講演会」	神永 学	100
7月14日	高校生創作教室 「神永学講演会」	神永 学	50
9月8日	三枝昂之短歌講座	三枝 昂之	
12月15日	三枝浩樹短歌講座	三枝 浩樹	
合計			203

## (8) ワークショップ

月日	事業名 演題	講師	参加人数
4月29日	大人のための初心者俳句ワークショップ	井上康明	38
6月2日	羊毛フェルトで山椒魚を作ろう!	小澤美智子	26
7月7日	子どもとその保護者のための「俳句入門」	井上康明	10
7月16日	夏休み自由研究プロジェクト		185
7月29日	デコパージュで『童話の花束』を身近に	小林睦実	22
7月31日	あなたの心を鏡開き! 太神楽の世界を体験しよう	丸一仙三・仙花	35
合計			316

## (9) ジュニアインターンシップ・職場体験学習

月日	学校名	情報	参加人数
8月1日	甲府城西高校		2
8月1日	八田中学校		2
8月1日	山梨大学		1
8月3日	勝山中学校		1
8月3日	白根御劔使中学校		3
8月3日	甲府西高校		2
11月8日	あけぼの特別支援学校		
合計			11

## (10) 学芸員実習

月日	学校名	情報	参加人数
7月16日	都留文科大学		2
合計			2

## (11) 文学解説(展示解説、視察対応)

月日	対象名・講座名等	対象者	参加人数
4月6日	都留文科大学国文科オリエンテーション	都留文科大学学生	136
5月25日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院峽東教室	17
7月22日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院峽南教室	29
8月1日	中巨摩地区国語科研修会	中巨摩地区小中教員	12
8月3日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院中北教室	32
8月17日	都留地区国語科研究会	都留地区小中教員	6
8月17日	峡南地区国語科研究会	峡南地区小中教員	32
8月21日	山梨県国語科教育課程研究会	中学校国語科教員	32
9月28日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院甲府教室	
9月29日	「富士山の文学について」	実践校会山梨支部	
11月16日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院北都留・南都留教室	
合計			296

## (12) 山梨の文学解説講座（他会場への講師派遣事業）

月日	講座名	対象者	参加人数
6月25日	文学に描かれた甲府（太宰治）	藤村学校	70
7月30日	峡南地区図書館教育研究会	峡南地区小中学校図書館司書	9
10月13日	周五郎作品から見る故郷・山梨への思い	みどう本陣	
合計			0

## (13) 小・中・高等学校文学教室（出前授業）

月日	学校名（内容）	対象者	参加人数
6月8日	浅川中学校	浅川中2年生	130
6月15日	都留高等学校	都留高等学校2年生	240
6月27日	北杜市放課後子ども教室（須玉）	須玉小学生	70
7月12日	鯉沢中学校	鯉沢中学校2年生	18
7月18日	中央高等学校	中央高等学校午前・午後・夜間部	94
8月29日	北杜市放課後子ども教室（大泉）	泉小学生	62
9月19日	北杜市放課後子ども教室（武川）	武川小学生	
10月3日	北杜市放課後子ども教室（長坂）	長坂小学生	
11月7日	鯉沢中学校	鯉沢中学校全校生徒	
2月6日	北杜市放課後子ども教室（明野）	明野小学生	
合計			614

## (14) 小・中・高等学校教育課程対応（展示解説）

月日	内容	対象者	参加人数
4月12日	校外学習	鯉沢中学校2年	10
4月26日	校外学習	市川中学校2年	10
5月8日	校外学習	身延中2年	35
5月8日	校外学習	御勤使中2年	15
5月9日	校外学習	韭崎東中2年	44
5月9日	校外学習	八田中2年	3
5月9日	校外学習	韭崎西中2年	14
5月11日	校外学習	高根中2年	13
5月11日	校外学習	田富中2年	10
5月11日	校外学習	普蓮土学園	130
5月15日	校外学習	櫛形中2年	11
5月15日	校外学習	早稲田高等学院	173
5月15日	校外学習	甲西中2年	4
5月16日	校外学習	荻草中2年	16
5月16日	校外学習	双葉中2年	13
5月16日	校外学習	早稲田高等学院	44
5月18日	国語科校外学習	城西高校2年	175
5月30日	校外学習	北東中1年	5
5月30日	国語科校外学習	中央高校通信制	16
6月6日	国語科校外学習	甲斐清和高校	36
6月13日	校外学習	大月東中	4
6月23日	校外学習	大月短期大学	47
7月11日	校外学習	付属中1年	14
7月20日	国語科校外学習	甲斐清和高校通信制	51
7月26日	校外学習	韭崎東中	3
合計			896

## (15) 小・中・高等学校移動文学館（アウトリーチ）

月日	利用学校名	セット	対象人数
4月11日	中央高校	F	424
4月11日	御坂中学校	E	334
4月25日	中央高校	C	424
4月27日	御坂中学校	A	334
5月15日	長坂中	A	215
5月16日	鯉沢中学校	F	69
5月18日	中央高校	B	424
5月31日	鯉沢中学校	E	69
5月31日	東桂中	F	226
6月19日	上野原高校	E	512
6月19日	御坂中学校	F	334
6月29日	田富中学校	F	484
7月18日	中央高校	A	424
合計			4,273

利用教材 A：石川啄木セット B：龍太・蛇笏のちまちな人形セット C：花子とアン  
D：賢治と嘉内の友情セット E：芥川龍之介の夏休みセット F：文豪ストレイドッグス  
セット

## (16) 外部共催研修

月日	企画名	対象者	利用人数
7月31日	総合教育センターとの共催研修	小中・特別支援学校教員	13
10月19日	小中学校初任者研修	小中学校初任者研修	
合計			13

## (17) 各種団体への普及活動

月日	普及内容	対象者	利用人数
5月11日	中巨摩地区校長会	学校長	50
5月15日	北巨摩地区校長会	学校長	27
5月15日	東山梨地区校長会	学校長	29
5月22日	北都留地区校長会	学校長	19
6月1日	南都留地区校長会	学校長	43
6月1日	高等学校国語部会	高等学校国語科教員	44
6月12日	甲府地区校長会	学校長	39
6月14日	笛吹地区校長会	学校長	19
6月23日	山梨県国語科教育研究会	小中学校教員	40
6月26日	峡南地区校長会	学校長	28
10月2日	高等学校国語部会	高等学校国語科教員	
合計			338

## (18) 協力会読書会

月 日	作 品	対 象 者	利用人数
5月13日	井伏鱒二「山椒魚」		5
6月10日	太宰治「もの思ふ草」		6
7月8日	芥川龍之介「蜘蛛の糸・杜子春」		8
8月12日	吉村昭「遠い日の戦争」		4
9月9日	松井十四季「同調とバランス」		
10月14日	志賀直哉「小僧の神様 外」		
11月11日	瀬戸内寂聴「手鞠」		
12月9日	林真理子「花探し」		
1月13日	川端康成「雲の小説」		
2月10日	山本周五郎「月の松山 外」		
3月10日	芥川賞受賞作2作（第159回&160回）		
合計			23

## 3 やまなし文学賞

本賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して、山梨県の文学振興をはかり、日本の文化発展の一助とするために制定された。小説と、研究・評論の2部門を設けている。

選考委員 小説部門：坂上弘・佐伯一彦・長野まゆみ  
研究・評論部門：中島国彦・関川夏央・兵藤裕己

30年11月30日 作品締め切り予定

過去5年間教育普及事業 実施状況

一般対象		H25	H26	H27	H28	H29
企画展・特設展関連 講演会・講座	回数	7	7	13	7	7
	人数	1,431	1,963	1,837	1,632	1,199
	平均人数	204	280	141	233	171
企画展・特設展 ギャラリートーク	回数	34	6	3	2	3
	人数	513	170	107	76	136
	平均人数	15	28	36	38	45
年間文学講座Ⅰ・Ⅱ 古典文学・近代文学	回数	16	16	16	16	16
	人数	1,872	2,039	1,696	1,302	1,719
	平均人数	117	127	106	81	107
年間文学講座Ⅲ (館職員による)	回数	2	3	2	3	4
	人数	89	97	67	139	248
	平均人数	45	32	34	46	62
朗読講演会	回数	1	1	1	1	1
	人数	380	189	239	247	170
	平均人数	380	189	239	247	170
映画鑑賞会	回数	5	6	4	5	4
	人数	1,010	1,704	1,245	1,022	1,048
	平均人数	202	284	311	204	262
読書会	回数	9	11	11	10	11
	人数	96	106	99	72	83
	平均人数	11	10	9	7	8
一般団体 展示解説 文学解説	回数	12	48	11	10	13
	人数	393	1,353	405	452	612
一般団体 山梨の文学 講師派遣事業	回数	7	17	4	5	10
	人数	285	1,286	395	153	360

小中高生対象		H25	H26	H27	H28	H29
子ども映画鑑賞会	回数	2	2	2	2	2
	人数	615	413	201	265	206
	平均人数	308	207	101	133	103
ワークショップ等	回数	11	8	8	5	5
	人数	1,335	880	806	619	388
	平均人数	121	110	101	124	78
小・中・高等学校・大学 展示観覧・解説	回数	74	54	66	54	48
	人数	1,141	2,723	3,137	2,120	1,955
小・中・高等学校 講師派遣事業	回数	14	9	4	8	12
	人数	517	2,039	646	376	1,498

小中高生・一般対象		H25	H26	H27	H28	H29
創作プログラム (俳句短歌等教室・講演等)	回数	3	5	5	7	7
	人数	192	208	541	404	289
	平均人数	64	42	108	58	41
企画展・特設展チャレンジクイズ 文学の柱等	人数	3,770	2,720	3,344	6,520	9,640

学校対象		H25	H26	H27	H28	H29
移動文学館 (パネル貸し出し)	回数	37	28	32	34	36
	人数	7,098	9,993	6,484	11,285	12,678
	平均人数	192	357	203	332	352

平成29年度 資料情報課事業実施状況

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が資料を直接手に取って利用できる機会を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
<b>山本周五郎を読む</b> 特設展「歿後50年 山本周五郎展」に合わせて、「樅の木は残った」「山彦乙女」などの著作や研究書を紹介する。	平成29年4月29日(土) ～ 6月18日(日)
<b>山梨に生まれた作家たち</b> 林真理子、辻村深月、神永学など、山梨で生まれ育ち、現在精力的に執筆活動を行っている作家を取り上げ、映画化・ドラマ化などで話題となった小説や文学賞受賞作などを紹介する。	平成29年7月15日(土) ～ 8月27日(日)
<b>津島佑子の世界</b> 企画展「津島佑子展 いのちの声をさかのぼる」に合わせて、母方の系譜を辿った長編小説「火の山-山猿記」などの著作や父・太宰治の関連資料を紹介する。	平成29年9月22日(金) ～ 11月23日(木)
<b>近代文学の挿絵画家たち</b> 創意を凝らした本の装幀や挿絵は、文章とともに本を読む楽しみのひとつである。近代文学の装幀と挿絵に注目して、橋口五葉、小穴隆一などを取り上げて紹介する。	平成30年2月10日(土) ～ 4月8日(日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展示名	展示期間
土橋治重(4月25日生まれ)	平成29年4月14日(金)～4月27日(木)
太宰 治(6月19日生まれ)	平成29年6月9日(金)～6月22日(木)
飯田龍太(7月10日生まれ)	平成29年6月30日(金)～7月13日(木)
田中冬二(10月13日生まれ)	平成29年10月6日(金)～10月19日(木)
深沢七郎(1月29日生まれ)	平成30年1月24日(水)～2月8日(木)
李 良枝(3月15日生まれ)	平成30年3月9日(金)～3月25日(日)

その他、講座、講演会開催時に講師の著作の資料紹介を適宜行う。

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成29年 6月10日(土) 参加者：39名

第2回 同 11月20日(月) 県民の日 参加者：40名

午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

平成30年度 資料情報課事業計画

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が資料を直接手に取って利用できる機会を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
<b>井伏鱒二を読む</b> 特設展「生誕120年 井伏鱒二展」に合わせて、代表作『黒い雨』『本日休診』や山梨を舞台にした『岳麓点描』などの著作や研究書を紹介する。	平成30年4月28日(土) ～ 6月17日(日)
<b>みんなで読もう日本の名作</b> 特設展「童話の花束 子どもたちへの贈り物」に合わせて、復刻シリーズを中心に『風の又三郎』、『一房の葡萄』、『蜘蛛の糸』など、子ども向けに書かれた名作の数々を紹介する。	平成30年7月14日(土) ～ 8月26日(日)
<b>草野心平の世界</b> 企画展「草野心平展」に合わせて、草野心平の著作と詩誌「歷程」をめぐる詩人の作品など関連資料を紹介する。	平成30年9月21日(金) ～ 11月25日(日)
<b>映像になった文学作品 平成をふり返って</b> 『太陽の坐る場所』(辻村深月)や『白磁の人』(江宮隆之)など平成の時代に映像化され、話題になった文学作品や映画関連記事などを紹介する。	平成31年2月8日(金) ～ 4月7日(日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展示名	展示期間
飯田蛇笏(4月26日生まれ)	平成30年4月20日(金)～5月10日(木)
太宰 治(6月19日生まれ)	平成30年6月8日(金)～6月28日(木)
辻邦生(9月24日生まれ)	平成30年9月7日(金)～9月27日(木)
山崎方代(11月1日生まれ)	平成30年10月26日(金)～11月15日(木)
与謝野晶子(12月7日生まれ)	平成30年11月30日(金)～12月20日(木)
中村星湖(2月11日生まれ)	平成31年2月1日(金)～2月21日(木)

その他、講座、講演会開催時に講師の著作の資料紹介を適宜行う。

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成30年 6月 9日(土) 参加者：44名

第2回 同 11月20日(火) 県民の日

午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

(H30.8.31現在)

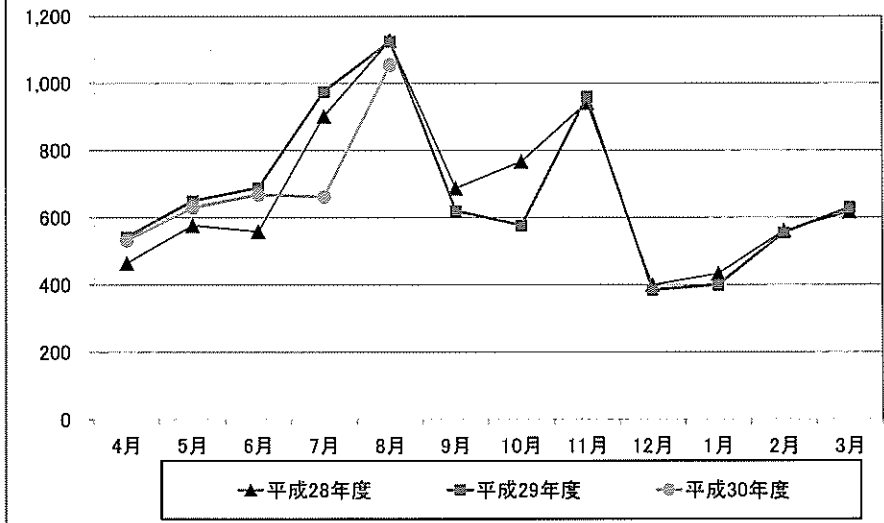
	開館 日数	入室者 数	閲覧 カード 発行数	閲覧者数	閲覧 冊数	調査 相談	電子式 複写 枚数	マイク ロ複写 枚数	画像 検索 回数	資料 紹介 冊数
平成28年度	306	8,034	95	425	1,692	342	2,944	0	1,881	919
平成29年度	304	8,109	106	440	1,895	801	4,122	0	1,734	544
平成30年度	133	3,547	58	170	513	323	823	0	701	313

閲覧室入室者(月別)

単位:人 (H30.8.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均 入室者数
平成28年度	464	576	558	902	1,128	687	767	942	399	433	561	617	8,034	26
平成29年度	542	650	689	976	1,126	620	577	960	384	400	555	630	8,109	27
平成30年度	532	630	668	662	1,055								3,547	27

閲覧室入室者数月別集計グラフ



調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件 (H30.8.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
平成28年度	25	42	23	39	34	26	20	20	26	18	27	42	342	1
平成29年度	40	63	119	54	76	76	73	73	38	64	69	56	801	3
平成30年度	68	59	71	57	68								323	2

複写枚数(電子式・マイク)(月別)

単位:枚 (H30.8.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
平成28年度	28	594	258	452	137	301	228	244	243	78	39	342	2,944	10
平成29年度	224	222	400	364	745	441	145	106	18	220	681	556	4,122	14
平成30年度	323	149	91	79	181								823	6



# 平成30年度 上半期文学館協議会

山梨県立文学館指定管理者  
株式会社SPSやまなし

## 目次

### 1. 2期目の指定管理期間における目指す姿

### 2. 賑わいの創出

- ・ 展覧会観覧誘致のための広報活動
- ・ 露出度アップのための広報戦略
- ・ 広報イベントの開催

### 3. ホスピタリティデザインの構築

- ・ 研修及び館内避難訓練

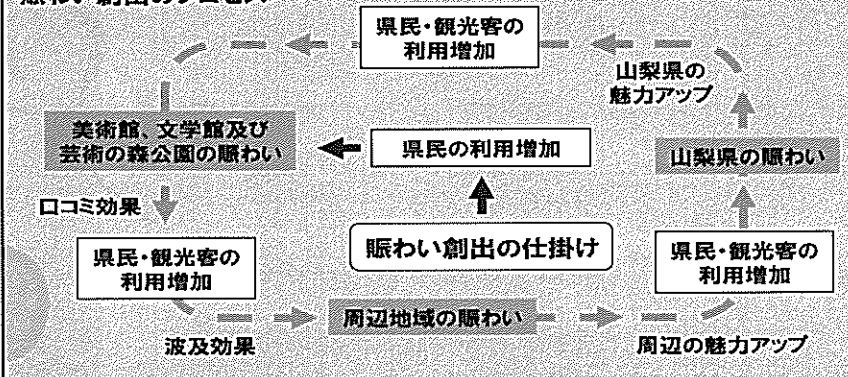
### 4. 基盤整備

### 5. 下半期に予定している活動

## 美術館、文学館及び芸術の森公園が目指す姿

- 県民が日常的に活用する施設であり、県民の誇りでもある施設
- 県内の賑わいを創出する旗艦として機能する施設

### 賑わい創出のプロセス



## 指定管理者活動トピックス

### 【2-1】展覧会観覧誘致のための広報活動

特設展「生誕120年 井伏鱒二展」

2018年4月28日(土)～6月17日(日)

GW期間の観光客もターゲットとし、首都圏・長野・山梨向けの朝日新聞に広告を実施。また、学芸課とともに、井伏の印象をできるだけ柔らかくできるよう、イラストで趣味の旅・釣り・温泉を表現するなどポスター・チラシのデザインを工夫した。



<観覧者実績> 3,916名 (予比98%)

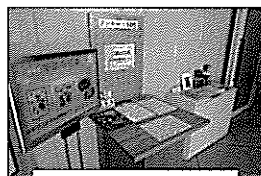
朝日新聞関東版(120万部)に掲載

**指定管理者活動トピックス**  
**【2-2】 展覧会観覧誘致のための広報活動**  
**特設展「童話の花束 子どもたちへの贈り物」**  
**2018年7月14日(土)~8月26日(日)**

夏休み期間中のファミリー層をターゲットし、ポスター等の制作物の工夫や展示室内にフオトスポットの設置を提案するなど、より親しみやすく工夫した。美術館の「魔法の美術館展」に来館している方にも文学館に足を運んでいただけるよう、美術館館内や出入口にポスターや看板を設置し、来館を促した。



↑フオトスポット風景



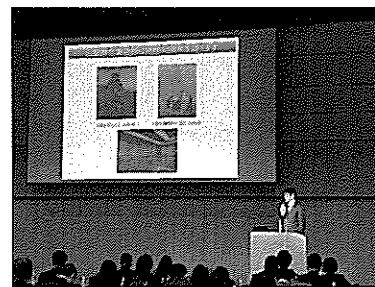
↑美術館内掲示風景

<観覧者実績> 5,242名 (予比104%)

**指定管理者活動トピックス**  
**【2-4】 露出度アップのための広報戦略**

**旅行社商談会への参加 (東京2/6、名古屋2/21)**

旅行社商談会に出席し参加企業52社へ向けたプレゼンを実施した。その後、企業毎の個別商談を行い、東京会場では11社、名古屋会場では6社との商談を行い、施設の魅力をアピールした。



当日配布資料

東京会場(六本木):2月6日、名古屋会場:2月21日

**指定管理者活動トピックス**  
**【2-3】 露出度アップのための広報戦略**  
 ・「るるぶ山梨」への広告掲載  
 ・「びあMOOK 文豪とアルケミストびあ」への掲載

県外観光客をターゲットとし、情報収集ツールとして有力な旅行情報誌「るるぶ」へ美術館とあわせて見開きページで出稿した。また、文学館の新たな顧客開拓をめざし「びあMOOK 文豪とアルケミストびあ」へ掲載を行い、井伏鱒二展をアピールした。※文豪とアルケミストは、DMM.com配信の文豪転生シュミレーションゲーム



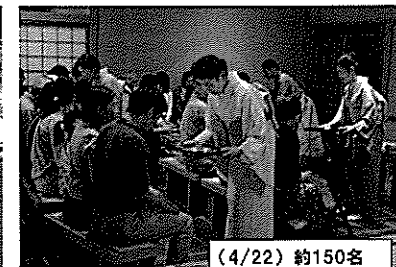
**指定管理者活動トピックス**  
**【2-5】 広報イベントの開催**

**芸術の森茶会 (4/22、5/6、7/16)**  
**学生向け茶道体験 (6/24)**

各流派のお手前のもと、毎回定員を超える多くのお客様の参加があり、本格的な茶室設備を備えた施設のアピールにつなげている。今年度は新たに“学生”を対象とした茶道体験を行なった。また“野外彫刻たんけんツアー”のコースに組み入れるなど、参加者の裾野を広げる試みを行なった。



(6/24)学生向け茶道体験  
参加者:27名

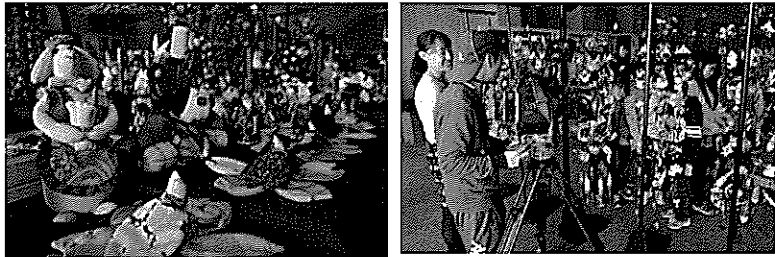


(4/22) 約150名  
(5/6) 約150名  
(7/16) 約200名

**指定管理者活動トピックス**  
**【2-6】広報イベントの開催**

**吊るし雛(つるしびな)展示**  
**2018年3月1日(木)~3月23日(金)**

文学館の2Fロビーにて手芸教室「布あそび教室」(甲斐市)の先生・生徒が制作した作品約120点を展示した。3月1日には貢川進徳幼稚園の園児51名を招待し、報道にも取り上げられた。取材効果もあり、昨年を超える多くの方に文学館へ足を運んでいただいた。



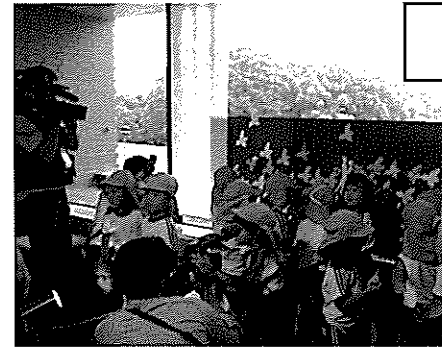
<見学者>1,614名(前年比112%)

取材: テレビ山梨 NNS  
 掲載: 山日新聞 山梨新報

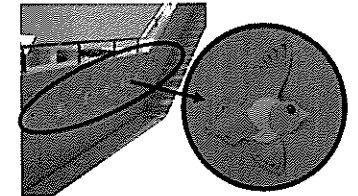
**指定管理者活動トピックス**  
**【2-8】広報イベントの開催**

**七夕イベント・ワークショップ**  
**2018年6月19日(火)~7月7日(土)、展示~8/19(日)**

今年度は“かささぎ”が天の川に橋を掛けるという伝説にちなみ、“かささぎ”型の短冊を用意し、願い事を天の川に見立てた模造紙や笹飾りに飾り付けるワークショップを実施した。1階壁面や階段にも、かささぎをモチーフとした案内・飾りを設置した。短冊は旧暦の七夕8/19まで文学館に展示し、山縣神社に奉納した(8/31)。



(7/5) 貢川進徳幼稚園の園児来館(40名)  
 《取材》当日: 山梨放送、NHK甲府、テレビ山梨  
 別日: 山梨新報



**指定管理者活動トピックス**  
**【2-7】広報イベントの開催**

**GWイベント(巨大鯉のぼり展示、ワークショップ)**  
**2018年4月21日(土)~5月6日(日)**

大型連休中の賑わい創出のため、文学館エントランスに巨大鯉のぼりを展示し、文学館2Fロビーや美術館のワークショップ会場で作成した手作りの鯉のぼりも展示した。来館の機会が少ないファミリー層や若年層を中心に多くの参加があり、賑わいの創出とともに文学館のPRをすることができた。



<文学館・美術館>  
 ☆鯉のぼりWS 参加者/524名(文学館展示/195枚)  
 ☆「ことば」さがしクイズ 参加者/954名

**指定管理者活動トピックス**  
**【3-1】ホスピタリティデザインの構築**

**外部研修参加(2/6、3/19)**  
**スタッフ全体研修実施(4/16、6/18)**

『ユニバーサルデザイン』に関する外部研修をスタッフ4名が受講。また、入社1年以内のメンバーを対象に、より良い印象を与える接客研修を実施した。スタッフ全員が一緒に参加する全体研修(2回)も含めて品質向上に努めた。集合研修では、避難訓練も繰り返し実施し、緊急時に常に安全・安心な対応がとれるよう心がけている。



## 指定管理者活動トピックス

### 【4-1】基盤整備

■県HPにサリン散布脅迫メール(6/18)が告知されたことを受け、県総務課、学芸課、資料情報課と有事の際の対策を検討し、トイレの巡回、裏導線の巡回、扉の施錠、注意看板等を設置し、緊急時に備えた。

■また、日頃から維持管理を行なっているバラ園や菖蒲園が身頃となり、多数の取材を受けた。県民の方が四季折々楽しめるよう管理をしていく。



特別警戒実施の表示



←バラ園(取材3社)  
↓菖蒲園(取材4社)

## 指定管理者活動トピックス

### 【5】下半期に予定している活動

インバウンド対応  
外国人向け茶会

Musee Marche  
(ミュゼマルシェ)

芸術の森公園ツアー  
(野外彫刻・文学碑等)

基盤整備  
(老朽化対策)

季節イベント  
(クリスマス・雑祭り等)

開館30周年へ向けた  
取り組み

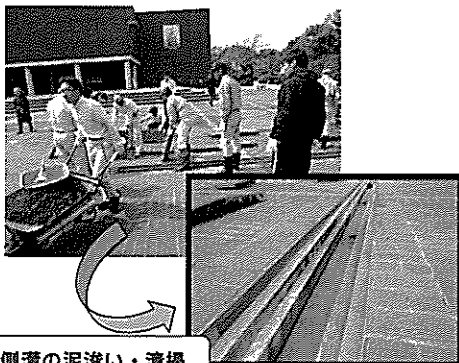
展覧会と関連付けた活動、販わいの創出に繋がる  
活動を実施していく

## 指定管理者活動トピックス

### 【4-2】基盤整備

2ヶ月に1回行なっているクリーンキャンペーンで、1月、3月と継続して、さんさん広場側溝とその蓋の泥溜いを実施した。雨水があふれる恐れがあり、その回避と施設・公園内の美化に努めた。

また、敷地内のレンガが盛り上がり、公園利用者や車椅子の通行が危険な箇所について早急にレンガの張り直しを行なった(3/26~28)。



側溝の泥溜い・清掃



レンガの補修